

持株会社体制移行による 新たなグループ経営

2019年度第2四半期
決算説明会

2019年11月12日



日揮ホールディングス株式会社
代表取締役会長CEO 佐藤 雅之

持株会社体制移行による新たなグループ経営

持続的成長に必要なことは、

“マクロ環境の変化に合わせ、変革し続けること”

例：エネルギーと環境に関する変化

- (1) 一次エネルギー構成が変化：“Less Carbon, More Energy”
【IEA予測】2040年時点の一次エネルギー構成
 - 化石エネルギーの比重は低下するが、新興国の需要増加により、依然として約6割を占める
 - 再生可能エネルギー等の比重増大。約4割へ
- (2) 低炭素・循環型社会への流れが加速
 - CO2排出抑制の強化、脱炭素社会への動き、廃プラ問題への対応

持株会社体制への移行 = マクロ環境変化を意識した変革

<両利き戦略>

- 海外オイル&ガスはメインビジネス。変化に合わせて複数事業で収益拡大
- 環境に係わるビジネスを重視、拡大

持株会社体制移行による新たなグループ経営

グループ事業の基本戦略

総合エンジニアリング事業	海外オイル&ガス事業	メインビジネスとして、幅広く石油・天然ガス・石油化学をターゲット。特に環境負荷の小さい天然ガス、LNGに注力	環境 サステイナビリティ協創部を新設し、開発技術の早期ビジネス化
	海外インフラ事業	グループ事業の柱とすべく、環境に配慮し、地域特性に応じたインフラ設備をアジアで展開 (再エネを中心とする発電、LNG/LPG受入基地、非鉄、ライフサイエンス、メディカル、空港など)	
	国内事業	グループ収益のベースロード。インフラ※を主体に課題先進国日本に貢献。新規事業をインキュベート。 ※エネルギー/ケミカル、ライフサイエンス、発電、ヘルスケア、メンテナンス	
	機能材製造事業	環境変化（5G、EV/HV、マイクロプラスチック代替など）を追い風とし、新製品開発による事業拡大	

持株会社体制移行による新たなグループ経営

持株会社体制で、将来の環境変化に迅速に対応できる体制に。

**常に最適な事業ポートフォリオを追求し、
持続的な成長を目指す**

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

日揮ホールディングス株式会社
グループ経営推進部
コーポレートコミュニケーショングループ
Tel:045-682-8026 Fax:045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com